

## 環境調査結果のお知らせ

平成22年7月1日  
中央漁業指導所・水産試験場

平成22年7月1日午前9時から、浦ノ内湾の環境調査をしましたので結果をお知らせします。

## 概況

透明度は前回調査(平成22年6月24日)よりやや改善したものの、低い状態が続いていました。水温は前回調査とほぼ同じでした。塩分は先月26日の降雨の影響が続いており、全体的に低くなっていました。湾内の環境は表層で高水温・低塩分、底層は表層と比べて低水温・高塩分となっており、上下層間に明瞭な密度成層が形成された結果、鉛直的に安定な環境になっていました。養殖漁場底層の貧酸素水塊は更に発達していました。有害種のカレニア・ミキモイは前回調査時よりも全体的に減少していましたが、シャトネラ類は5~10倍程度に増加していました。

## 水温と塩分(表1・2)

湾内の水温は22.98~27.09℃で、表層水温は底層よりも4℃程度高くなっていました。また、塩分は16.03~32.30で、表層から底層にかけて鉛直勾配が顕著で、湾内には安定した密度成層が形成されていました。

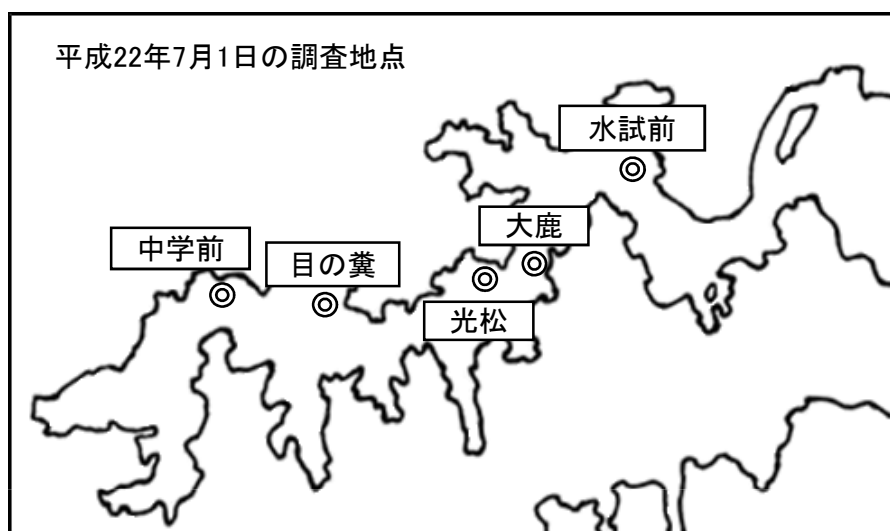
## 溶存酸素濃度(表3)

養殖漁場付近の溶存酸素濃度は0.23~16.92mg/lでした。湾内の赤潮状態は前回調査ほどではありませんが、0~2m層の酸素濃度は過飽和となっていました(8.41~16.92mg/l)。一方、底層は前回調査よりも0.02mg/l低下して0.23~0.33mg/lになっており、湾口に近い水試前の底層でも2.46mg/lまで低下していました。

## プランクトン(表4・5)

養殖漁場周辺の透明度は1.9~2.2mでした。有害種のカレニア・ミキモイの細胞数は全体的に減少し、最大出現細胞数は中学前の153cells/mlでした。また、中学前から大鹿にかけて有害種のシャトネラ類が増殖しており、最大出現細胞数は中学校前で174cells/mlでした。中学前ではカレニアとシャトネラの増殖により、着色域が見られました。シャトネラ類は海水1mlに対して100細胞程度でも魚類の斃死を引き起こす可能性があり、昨年も7月頃から赤潮を形成して養殖魚に被害を及ぼしているため、今後の動向に注意が必要です。

有害種のカレニア・ミキモイの赤潮は終息に向かっていますが、有害種のシャトネラ類が増殖傾向にあるので養殖管理には注意してください。海の状態や養殖魚の状態に不安を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲んで、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学前	目の糞	光松	大鹿	水試前	湾内平均 ※	前回調査(H22.6.24)	
							湾内平均	前回との差 今回-前回
0m	27.55	26.91	27.09	26.71	25.65	<b>26.90</b>	27.93	▲ 1.02
2m	24.74	24.73	24.66	24.67	24.78	<b>24.69</b>	25.27	▲ 0.58
5m	24.44	24.34	24.28	24.27	24.19	<b>24.30</b>	23.98	0.32
10m	24.22	24.37	24.18	24.17	-	<b>24.24</b>	23.15	1.09
B-1m	23.45	23.05	23.02	22.99	23.84	<b>23.02</b>	22.32	0.70

※ 目の糞・光松・大鹿の平均値

表2 塩分

調査地点	中学前	目の糞	光松	大鹿	水試前	湾内平均 ※	前回調査(H22.6.24)	
							湾内平均	前回との差 今回-前回
0m	17.74	16.03	17.84	18.95	17.69	<b>17.61</b>	25.76	▲ 8.15
2m	25.72	25.96	26.16	26.30	25.72	<b>26.14</b>	30.77	▲ 4.63
5m	28.32	27.80	28.02	28.10	28.35	<b>27.97</b>	31.75	▲ 3.78
10m	31.69	31.40	31.15	31.39	-	<b>31.31</b>	32.37	▲ 1.05
B-1m	32.13	32.27	32.29	32.30	31.12	<b>32.29</b>	32.48	▲ 0.20

※ 目の糞・光松・大鹿の平均値

表3 酸素濃度(mg/l)

調査地点	中学前	目の糞	光松	大鹿	水試前	湾内平均 ※	前回調査(H22.6.24)	
							湾内平均	前回との差 今回-前回
0m	17.75	16.92	15.92	15.51	13.22	<b>16.12</b>	9.96	6.16
2m	7.95	8.41	9.32	9.50	9.96	<b>9.08</b>	9.19	▲ 0.11
5m	4.95	6.11	7.21	7.57	8.23	<b>6.96</b>	4.67	2.29
10m	2.23	3.25	3.38	3.14	-	<b>3.26</b>	1.82	1.43
B-1m	0.76	0.29	0.23	0.33	2.46	<b>0.28</b>	0.31	▲ 0.02

※ 目の糞・光松・大鹿の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学前	目の糞	光松	大鹿	水試前
水深	13.1	16.0	17.7	17.5	10.4
透明度	1.5	1.9	2.0	2.2	2.8
前回透明度	1.5	1.2	1.5	1.8	3.2

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ ミキモトイ	シャトネラ・マリナ シャトネラ・アンティカ	フィロカプサ・ ジャボニカ	ディクチオカ・ フィブラ	プロトベリディニウム 属
		中学前	0m	1	0	1
	2m	153	174	68	121	16
	5m	10	13	2	8	12
目の糞	0m	4	6	0	0	190
	2m	103	104	89	4	16
	5m	4	3	21	7	6
光松	0m	1	0	0	0	204
	2m	126	85	165	8	3
	5m	16	7	12	1	14
大鹿	0m	0	0	0	0	134
	2m	5	113	275	0	6
	5m	3	2	10	0	9
水試前	0m	0	0	0	0	73
	2m	5	2	22	0	16
	5m	8	1	2	5	12